

【問合せ先】信州大学工学部コロイド&界面科学研究センター（CoLLIS） 事務局
信州大学工学部物質化学科 酒井俊郎研究室内
Email: collisshinshu@gmail.com
Tel: 080-2552-0958

第3回医薬品科学講座（令和6年6月14日（金））開催

【会場】信州大学工学部内信州科学技術総合振興センター（SASTec）3F 会議室
【実施方法】 対面およびオンライン（ZOOM）

13:30～14:50（講演60分間、質疑20分間）

講師：小林 伸行先生（東京慈恵会医科大学）

題目：節足動物媒介性ウイルスの脅威

概要：節足動物媒介性ウイルスとは、蚊やマダニ等の節足動物が吸血することによって感染するウイルスの総称である。近年、日本においても温暖化も一因となり、この感染症が増加している。本講演ではその脅威を概説する。

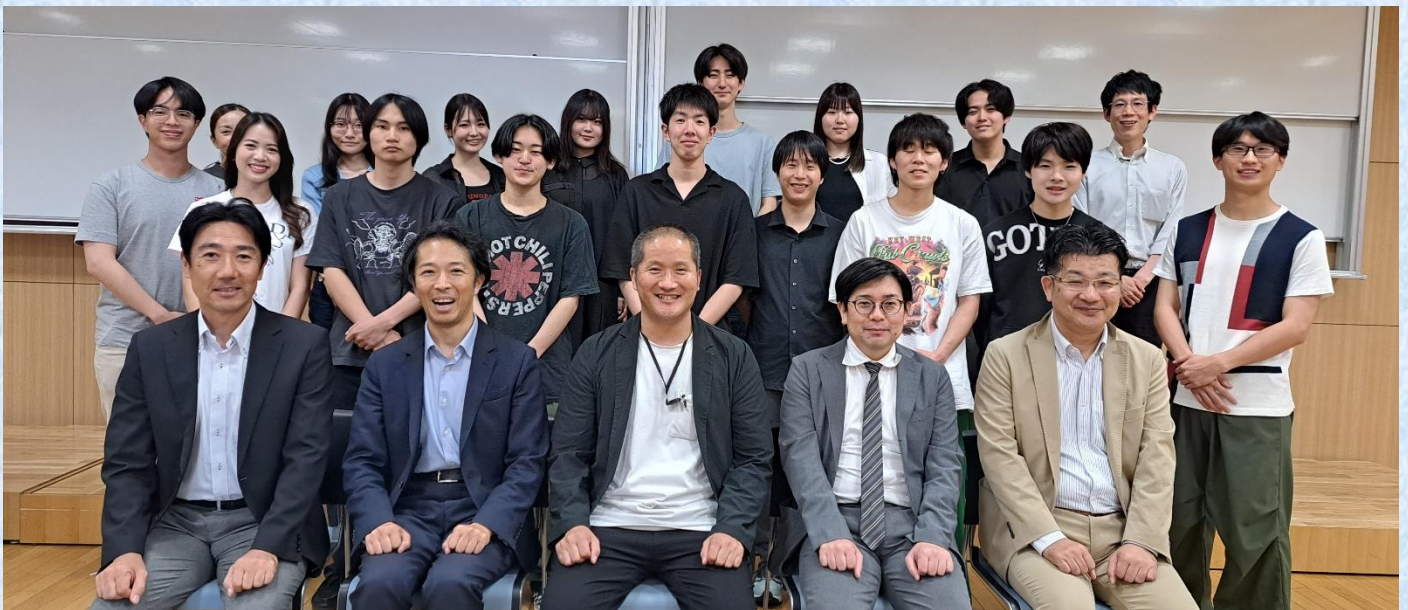


15:00～16:20（講演60分間、質疑20分間）

講師：宮野 貴之 先生（ロート製薬 株式会社）

題目：「目」と「目薬」を徹底解明!

概要：視覚をつかさどる「目」は、外界からの情報収集、また相互のコミュニケーションツールの1つとして、日常生活に非常に重要な組織です。そして、この重要な組織の治療する薬として「目薬」が知られています。本講演では、この2つにフォーカスして解説します。



第2回医薬品科学講座（令和4年6月17日（金））開催

【会場】信州大学工学部内国際科学イノベーションセンター（AICS）2F セミナースペース

【実施方法】 対面およびオンライン（ZOOM）

13:30～14:50（講演60分間、質疑20分間）

講師：大神田 淳子 先生（信州大学学術研究院（農学系））

題目：Undruggable な創薬標的に向けた分子戦略

概要：低分子薬標的の枯渇化が進む中、新たな創薬モダリティの発掘は重要な課題である。本セミナーでは、たんぱく質間相互作用や天然変性たんぱく質等の“undruggable”（創薬が困難）な標的分子の化学制御を目指した我々の研究の一端を紹介したい。

15:00～16:20（講演60分間、質疑20分間）

講師：長濱 徹 先生（大正製薬株式会社 セルフメディケーション開発研究所）

題目：医薬品の研究開発について

概要：医療用医薬品及び一般用医薬品を中心に研究開発について概略を説明する。研究開発の進め方や検討の視点について触れ、特に一般用医薬品についての差別化ポイントについて説明する。また、当社の開発事例を挙げ、研究者として必要な知識や心構えについてもお伝えしたい。



第1回医薬品科学講座(オンライン)(令和3年7月27日(火))

開催

「有機化学はすごい！」

講師：戸田泰徳（信州大学工学部物質化学科）

10：20～11：10「有機化学の基礎」

11：20～12：10「合成医薬品をつくるために」